

低出生体重児の離乳の進行状況

分担研究：心身の障害等を有する乳幼児の栄養・食生活のあり方に関する研究

研究協力者：水野 清子

要約：これまでに低出生体重児の栄養に関する研究として、栄養輸液や乳汁を中心としたものはみられるが、乳汁期以降、特に離乳を中心とした調査研究は殆ど皆無に等しい。低出生体重児の順調な発育を促すためには、乳汁の与え方は勿論のこと、共に適切な離乳食の供与も同時に大切である。そこで、低出生体重児を対象に、離乳の進め方に関する指針を策定するにあたり、初年度は軽症例の未熟児を対象に離乳の進行状況を観察した。

見出し語：低出生体重児、発育状況、離乳の開始、離乳食回数、食品の摂取状況

研究目的：近年における呼吸循環管理の著しい発展とともに、極小未熟児を中心とした低出生体重児の生存が可能となった。これまでに低出生体重児に関する栄養輸液やミルクを中心とした研究はみられるが、乳汁期以降、特に離乳を中心とした調査研究は殆どみられない。そこで、低出生体重児の離乳指針の策定に当たり、そのパイロットスタディとして、低出生体重児の離乳の進行状況を観察したいと考えた。

研究方法：平成5年11月から平成7年4月までに、総合母子保健センター愛育病院で出生した低出生体重児の中から、出生体重が1600～2300g程度の軽症例を対象に、健康診断時のカルテの記載から出生後の発育状況および離乳の進行状況を調べ、この度改定された「離乳の基本」との比較を試みた。

研究結果：

1. 対象児の出生体重と在胎週数

15名を調査対象とした。出生体重は1692～2328gであった。出生体重の分布は1600～1700g未満1名、1700～1800g未満2名、1800～1900g未満2名、1900～2000g未満2名、2000～2100g未満2名、2100～2200g未満3名、2200～2300g未満1名、2300～2400g未満2名であった。

在胎週数は32週1名、33週2名、34週4名、35週3名、36週2名、37週1名、38週2名であり、満期産（36週以降）の症例においても、出生体重が2000g以下の者が2名認められた。

2. 出生後の発育状態

平成2年乳幼児身体発育値の身長および体重発育のパーセンタイル曲線を用い、出生後の児の身長および体重が3、25、50%ileに達した月齢を調べた。

15名中1名は1歳まで身長および体重共に3%ileに達しなかった。

日本総合愛育研究所母子保健研究部

身長についてみると、出生時に3%ile に達した者は5名、その他の者が3%ile に達した月齢は2～5.5 か月、25%ile に達した月齢は生後2.5 か月から12か月に及んでいた。1歳までに50%ile に達した者は、15名中4名であった。

出生体重は全対象が3%ile 以下、3%ile に達した月齢は1～5か月、25%ile に達した月齢は2～12か月、1歳までに50%ile に達した者は皆無であった。

3. 離乳の進行

離乳開始月齢は4か月5名、5か月8名、6、7か月それぞれ1名で、大方の者は改定「離乳の基本」に準じていた。

離乳食回数は離乳初期（5～6か月）では殆どの者は1回食、2回食に進行していた者は5、6か月それぞれ1名ずつであった。離乳中期（7～8か月）になると、2/3 の者は2回であ

ったが、1回食の者が1/3 認められた。離乳後期（9～11か月）においても離乳食回数が1回または2回の者が数名認められた。今回の離乳の改定に際して行われた離乳期乳児の調査成績に比べ、今回の低出生体重児の場合、離乳開始後の進行状況は幾分遅れぎみであった。

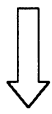
一方、乳児に与えている離乳食の内容を穀類（かゆ、軟飯）、たんぱく質性食品（卵黄、豆腐、魚、全卵、肉）、野菜・果物に分類し、改定「離乳の基本」に示されている目安との比較を試みた。いずれの月齢においても、野菜・果物以外のすべての食品の摂取量は「離乳の基本」もそれに比べ、少ない傾向にあった。

今後、当保健センター新生児集中治療室入室してくる低出生体重児を対象に、離乳の進行状況、栄養摂取量を調査し、発育との関係を観察したい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:これまでに低出生体重児の栄養に関する研究として、栄養輸液や乳汁を中心としたものはみられるが、乳汁期以降、特に離乳を中心とした調査研究は殆ど皆無に等しい。低出生体重児の順調な発育を促すためには、乳汁の与え方は勿論のこと、共に適切な離乳食の供与も同時に大切である。そこで、低出生体重児を対象に、離乳の進め方に関する指針を策定するにあたり、初年度は軽症例の未熟児を対象に離乳の進行状況を観察した。